

# 標先生 山日 YBS 杯県弓道選手権大会優勝!!



## 「私」と「弓道」と「稽古」

標 輝人 先生

「全日本弓道選手権大会」は弓道を志す全ての人の目標であり、一生のうちに一回出られるだけでも幸せという最高峰の大会です。各県の代表選手は一年間かけて選考され、ハレの舞台に威信をかけて出場してきます。大会のレベルは凄まじく、私も 120%の実力を出し切りましたが予選通過ラインは遙か彼方でした。それでも貴重な経験と、夢が叶った達成感私の人生に大きな成果を残してくれました。もう二度と出場出来ることはないかも知れませんが、これからは自分に妥協せず真摯に稽古を積み重ねようと決めました。山日 YBS 杯での優勝も、そんな気持ちの稽古途中に起こった出来事です。

私が弓道を始めたのは地元の春日居に弓道場ができた中学2年の時でした。野球やサッカーが苦手だった私は、あまりメジャーではない弓道競技なら誰よりも上手になれるかも、と甘い考えで始めたのです。ところが実際にやってみると奥が深く、30年以上たっても行き着く先が見えません。地元新聞や全国紙に掲載されるような輝かしい活躍があれば、僅かその1週間後に全く中(あた)らずに予選敗退してしまう試合もあります。心や体のちょっとした変化が「油断」や「隙」となって試合結果に現れてしまう難しい競技です。塩山高校の弓道部員もそれは痛感していることでしょう。では、どうすればいつも心や体を乱さないでいられるのでしょうか。それは日々の生活を充実させ、常に心と体に余裕を持ち、自分を肯定して自信を持てるように生きることです。(私にも出来てませんが・・・)

弓道の世界には「人生即射」とか「射心求己」といった言葉があります。中(あた)るも外れるも全ては自分の生活、自分の人間性に回帰するという教えです。高校生の皆さんはこれからの自分の人生を自分自身で創造することができます。自分の行動の結果は全て自分の人間性から生まれます。多くの事例を学び、自分を信じ、確固たる人間性を作り上げていってください。

# EZ times

ここが未来の起点

第6号  
2016 Feb.



普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『ここが未来の起点』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。

## とき 実り多き時間

地域行事に芸術文化祭、強歩大会に修学旅行と、生徒たちは充実した時間を過ごしました。そして、本年度はキャリア教育推進実践研究校としての集大成の年となりました。生徒の活躍とともに、その様子をご紹介します。

## 山梨県高等学校芸術文化祭文芸部門優秀賞

### 『高校3年生の今を描く』

文芸部3年

大澤 佑衣 さん



このような賞を頂くことができ、大変嬉しく思っています。応募した小説は、文芸部の活動として6月に作成した「若草」に掲載するために書いたものです。その内容は、高校3年生の男女が進路について話し合うというもので、将来に思い悩んでいた友人たちや私自身がモデルとなっています。この小説を書いた時、ちょうど学園祭の準備期間で、生徒会長であった私は非常に忙しい中ではあったのですが、眠い目をこすりながら明け方まで頑張って推敲した甲斐がありました。

私は4月から社会人になります。文章を書く機会は減ってしまうかもしれませんが、趣味として少しでも書いていけたらと思っています。この度は、本当にありがとうございました。

キャリア教育文部科学大臣表彰  
並びに金融知識普及功労者表彰受賞

### 学校全体の取り組みが評価!

金融教育、キャリア教育に積極的に取り組んだ結果、優良校として表彰されました。



## 山梨県高等学校芸術文化祭賞受賞!

熱い指導に感謝



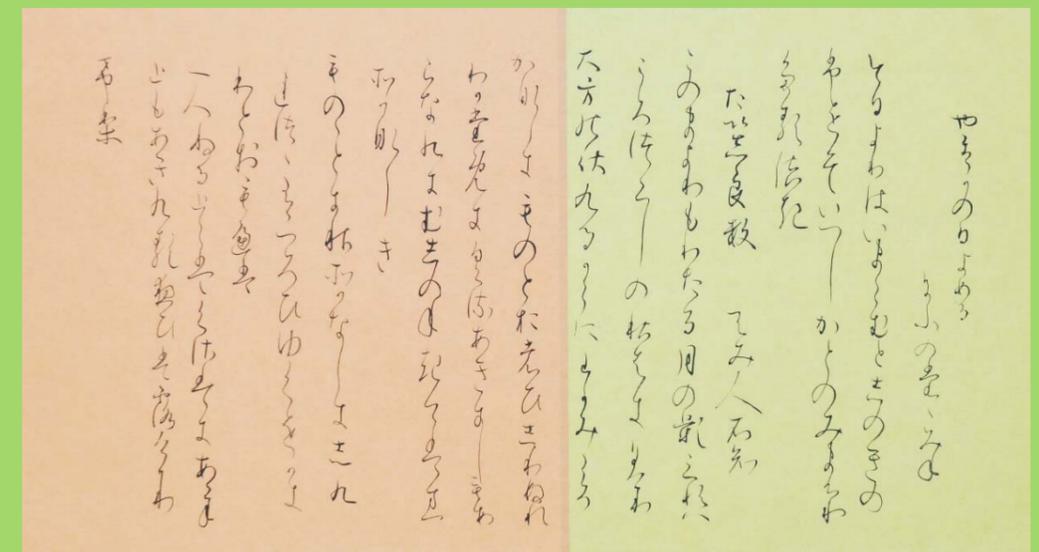
書道部1年 小野 大貴 さん

塩山高校に入学して、初めて臨んだ芸術文化祭。当日、大勢の高校生に圧倒され、少し緊張していたことを覚えています。

小学校2年生から書道を始め、これまでにない賞を頂きとても嬉しく思っています。部活動での日々の練習で、顧問の天野先生より熱く指導して頂いた結果、自分自身を成長させることに繋がり、このような素晴らしい賞を取れたと思っています。

これまで支えてくれた家族や書道教室の先生、仲間に感謝しています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々の練習に励んでいきたいと思っています。

最後に、熱くご指導くださった天野先生、古守先生、本当にありがとうございました。



(写真は部分)

### 吹奏楽部スプリングコンサート

3月13日(日) 13時~

甲州市民文化会館にて行います。  
入場無料



発行：山梨県立塩山高等学校

甲州市塩山三日市場440-1 〒404-0047

☎ 0553-33-2542

発行日 平成28年 2月

# 学校生活

様々な学校行事を通して、キャリア教育を行ってきました。学校行事が「生き方の学びの場」となりました。

## 講演会

恵林寺住職 古川周賢さんを講師に迎えて



### 「山梨で生きるということ」を考える

地域への理解を深め、将来、社会の一員として主体的に生きるための方法を模索し、自分自身と向き合う機会として、恵林寺住職の古川周賢さんをお迎えし講演会を行いました。

その中で、「山梨で生きているのではなく、山梨に生かされていると思えば、果たさなければならぬ役割・使命があると思えるようになり、主体的に生きることができるようになる。そして、一つしかないものこそが大切なものであることに、自然と気付くようになる。」とお話しをいただきました。

講演を聴いた生徒たちは、「山梨で生きることをもう一度考えたいと思います。」「山梨に生かしてもらっていると思感謝し、地域に貢献して生きていきたいと思いました。」などの感想を述べており、これからの生き方を考えるきっかけとなったようです。



## 理数教育推進事業 校外研修会

1月29日に1、2年生の英数コースの生徒たちが、科学講演会で講師をしてくださった宮川先生に同行していただき、国立天文台三鷹およびJAXA調布航空宇宙センターに見学に行ってきました。国立天文台では4D2Uのドームシアターで地球誕生や宇宙の成り立ちを、歴史館や展示室では天文台の歴史や現在研究が進められていることについて、またハワイやチリなど世界にある天文台での研究を学びました。午後はJAXA調布航空宇宙センターへ移動し、講義を受けました。そこでは、最近まで使われていたYS11のコックピットに入り操縦席に座ったり、また飛行機の風洞実験などを行い、普段経験することのできないことを学習して、充実した1日でした。



## 強歩大会



女子1位 1年 渡辺 弥優 さん

部活動で運動量がすごく増え、高校初めての強歩大会で「自分を試してみたい」と思っていました。授業でもしっかりと走り込み、普段から食事や体調面にも気を遣いました。そのおかげで、当日の体調は万全でスタートすることができました。走っていると女子ソフトボール部の先輩方の走る速さに、途中で諦めようかと考えましたが、周りの声援もあり、「親に喜んでもらいたい、友達、先生におめでとうと言われたい」と考え走りきることができました。そして、ゴールしたときは、ものすごい大きな達成感を感じることができました。なによりも、たくさんの応援の言葉や、「おめでとう」と言ってもらえたことが一番嬉しいです。

男子1位 2年 朱 大一 さん

昨年、私は6位という悔しい結果で終わってしまいました。そして、授業での走り込みや部活動でのトレーニングをもっとしておけばよかったという、後悔しか残りませんでした。精神的にも鍛えられた意味のある強歩大会になりました。2年生になり、また寒い季節がやってきて体育でも部活動でも冬のトレーニングが始まりました。昨年、妥協していた自分には最低でも負けたくないと思い、一生懸命に取り組み、強歩大会に臨みました。結果、1位という自分の目標を達成できました。ですが、もっと嬉しかったことは、大会新記録を出せたことです。私は改めて頑張れば結果はできるということがわかった気がします。

## 修学旅行の思い出...

修学旅行委員長 梅田 彩香 さん



高校生活の中で一番楽しみにしていた修学旅行が、12月13～16日の4日間で実施されました。私は初めての沖縄だったので、前日まで楽しみでドキドキが止まりませんでした。

沖縄では、たくさんの体験ができました。平和記念資料館に行き、礎に戦争で亡くなった方の名前が刻まれているのを見て、多くの犠牲者がいたのだということを知ったり、「ガマ」と呼ばれている防空壕に入り、当時の話を聴き改めて戦争の悲惨さを学ぶことができました。そして、二度と戦争は繰り返してはいけないと再認識しました。この他にも島散策をしたり、1.6kmにも及ぶ商店街が軒を連ねている国際通りを見たり、世界最大級の水槽を持つ美ら海水族館を見学したり、エイサーショーを見たりと楽しい時間を過ごすことができました。

この4日間、有意義な時間を過ごしながらか沖縄のことも学ぶことができ、大変充実した修学旅行となりました。

## キャリア教育実践報告

### 発動！地域活性化プロジェクト2015

3年英数コースの生徒が、地域の活性化をテーマに探究活動を行い、その中で甲州市の魅力を見直し、多くの人に広めるためのアピール法を考案しました。

甲州市の名産物の「甲州ワイン豚」、新名産品の「天空かぼちゃ」を取り扱ったグループでは、子ども用に冊子を作成したり、児童館に向いてクイズ大会を行うなど、楽しみながら学べる工夫をしました。また、大人向けとして、ポスターを作成し、塩山駅やスーパーなど多くの方の目に触れる場所へ掲示しました。

他にも、「大菩薩の魅力伝える」ために、実際に大菩薩に登り、現地調査を行いました。その結果から魅力や問題点を把握し、広告の作成にたどり着きました。まだまだ研究する余地のあるテーマなので、後輩に引き継いでいきたいと考えています。



## 地域の高校として...

ボランティアとして、地域のさまざまな行事に参加し、甲州市の高校生として貢献していきたいと思っています。本年度は、「小田原福祉会納涼会」「甲州市およっちょい祭」「農民ダイナマイト」「甲州子どもフェスタ」「赤い羽根共同募金街頭募金活動」など、生徒会役員や吹奏楽部、商業研究部が主に参加しました。

今後も地域の活動に積極的に参加していきたいと思っていますので、より多くの生徒の参加を待っています。

